

2022. 7. 21 掲出

## 2023年度農芸化学専攻 受験者各位

農芸化学専攻の受験者に対し、以下に示す要領で口述試験を行う。

本学で卒業研究を行っている受験者は以下の課題1について、それに該当しない受験者は受入教員と相談の上、課題1か2を選択してプレゼンテーションしなさい。

### <口述試験課題>

1. あなたが行ってきた卒業論文の背景、進行状況および展望について論じなさい。
2. 2021年以降に発表された学術論文のうち、農芸化学分野に関する論文1報を取り上げ、発表しなさい。ただし、発表する学術論文(Full Paper)は以下に示す学術雑誌から選択すること。また、与えられた時間内に該当論文の要旨を説明することが重要であり、必要に応じて図表の一部を割愛して説明してもよい。

- 1) American Journal of Physiology
- 2) Analytical Chemistry
- 3) Applied and Environmental Microbiology
- 4) Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry
- 5) Cell
- 6) Geoderma
- 7) Journal of Agricultural and Food Chemistry
- 8) Journal of Bacteriology
- 9) Journal of Biological Chemistry
- 10) Journal of Nutrition
- 11) Journal of Organic Chemistry
- 12) Journal of Soil Science
- 13) Journal of the American Chemical Society
- 14) Molecular Microbiology
- 15) Nature
- 16) Nucleic Acids Research
- 17) Phytochemistry
- 18) Plant & Cell Physiology
- 19) Plant Physiology
- 20) Plant and Soil
- 21) Science
- 22) The Plant Cell
- 23) The Plant Journal

### <発表時間と発表方法>

1. 口述試験時間は20分とする。はじめの8分間は、課題について作成したPDFファイル(例:Power Pointなどプレゼンテーションソフトで作成したファイルをPDF化したもの)に基づいて、パソコンを使ってプレゼンテーションを行う。残りの12分間は質疑応答の時間とする。口述試験会場にはプレゼンテーションに用いるPDFファイル(USBメモリ)のみ持ち込むことができる。
2. 受験者は1時限の英語の試験開始前に口述試験の発表要旨(A4版用紙1枚、1,000字以内、ワープロ使用)を試験監督者に提出する。発表要旨には受験番号、氏名および発表課題名を記すこと。なお課題2を選択した受験者は選択した論文のコピー1部を要旨と共に提出する。

以上

志望専攻	農芸化学専攻	科目名	小論文
受験番号		氏名	

(1)自身がこれまでに行ってきた研究および入学後の研究内容を述べなさい。

(2)自身が行っている研究が、関連分野の中でどのような立ち位置にあり、関連分野の進展にどのように貢献できるのか、自身の考えを述べなさい。

(1)(2)を合わせて、2000字以上の記述が必要である。

採点



